

北海道下水道事業経営戦略【概要版】

1 策定の趣旨

(1) 策定の目的

- ・下水道事業など地方自治体が経営する事業は、人口減少による料金収入の減少や施設の老朽化による更新費用の増大などにより厳しい経営環境
- ・北海道が経営する公共下水道事業及び流域下水道事業について、経営方針や将来像を明確化し、効果的・効率的な事業運営を図りながら経営基盤を強化することにより、下水道サービスの安定的かつ持続的な提供を目的として策定

(2) 計画期間

- ・令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）まで（10年間）

2 事業概要

事業名	事業の沿革			運営形態
	地域	供用開始	関係市町	
公共下水道	石狩湾	昭和58年度	—	民間業者に運営を委託
流域下水道	石狩川	昭和60年度	美唄市、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町	関係市町に維持管理業務（許認可関係を除く）を委託
	十勝川	昭和54年度	帯広市、音更町、芽室町、幕別町	
	函館湾	平成元年度	函館市、北斗市、七飯町	

3 経営の基本方針

(1) 経営の健全性の向上

- ・適正な収入の確保や費用の見直しによる収支の改善及び適切な資産管理

(2) 安定した下水道サービスの提供

- ・施設の適切な維持管理の実施及び計画的かつ効率的な更新

(3) 安全で安心なまちづくりの推進

- ・施設の耐震化推進及び業務継続計画に基づく防災訓練実施による災害に強い体制整備

4 投資・収支計画

(1) 投資について

- ・投資需要は、今後30年間で、標準耐用年数の1.5倍を目標耐用年数として算出
- ・投資内容は、施設整備が概ね完成していることから、今後10年間で、既存設備等の更新や長寿命化を行い将来の投資負担の平準化、低減化を図る（別紙 図1及び図2を参照）

(2) 財源について

◆収入

【公共下水道】

- ・企業立地等による使用料の増加見込みや使用料単価の見直しによる収入の確保
- ・処理場敷地の有効活用等による新たな収入の確保の検討

【流域下水道】

- ・関係市町からの適正な負担金徴収

◆支出

【公共下水道】

- ・委託方法の見直しによる維持管理費の削減
- ・改築更新に併せた新技術・高効率機器の導入などによるコスト縮減

(3) 収支計画について

【共通】

- ・投資と財源に関する取組を踏まえ、今後10年間の収支計画を作成

【公共下水道】

- ・使用料の見直しによる収入の増加などにより収支の差額が緩やかに改善し、令和12年度は、令和3年度との対比で約半分となる予定

【流域下水道】

- ・維持管理を市町村が実施しているため、今後の10年間も収支は均衡する予定

5 経営基盤強化に資する取組

(1) 職員研修の充実

- ・専門知識の習得や経営感覚の醸成のための職員研修の充実

(2) 情報の発信

- ・経営状況や下水道の役割などをホームページで情報発信

(3) 災害・危機管理対策

- ・業務継続計画に基づく防災訓練の実施による被害の極小化や早期の復旧体制の確立

6 経営戦略の進捗管理・検証

(1) 経営戦略の進捗管理

- ・毎年度、決算状況などを踏まえ、計画と実績との乖離の要因を分析するなどPDCAサイクルを活用した進捗管理

(2) 経営戦略の見直し

- ・経済社会情勢の変化や新たな課題に対応するため、中間年の5年を目安とした見直し

図1

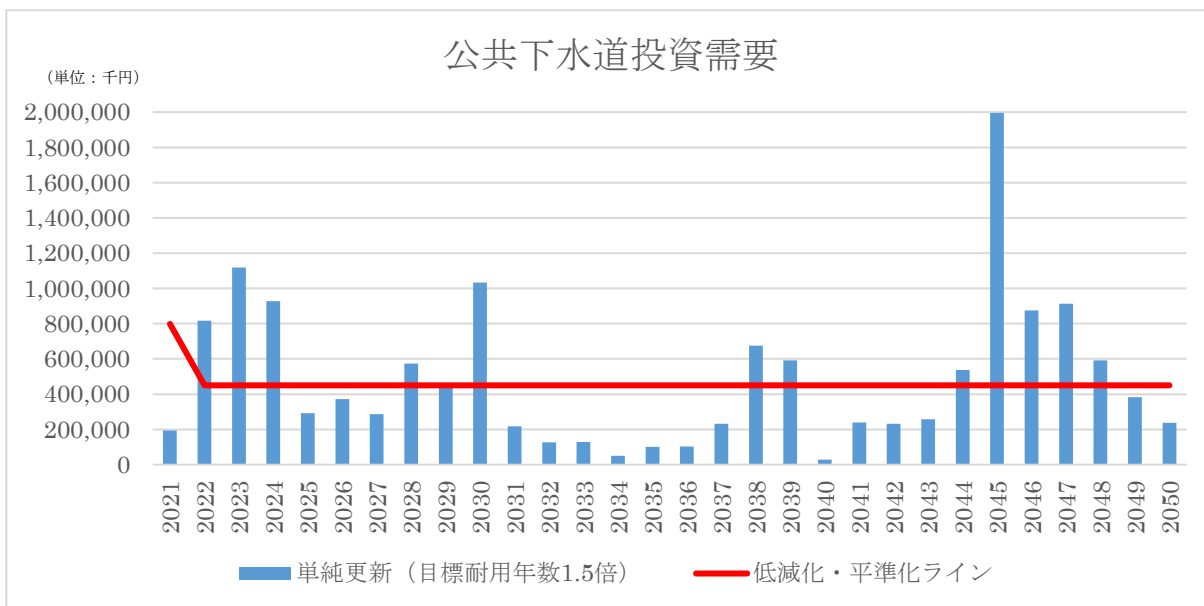


図2

